

シスター方の  
撤退にそなえて

主任司祭 清水弘

祇園教会で長年にわたり奉仕してくださった純心聖母会が今年度をもつて撤退することになりました。有志の皆さんで引き留めの動きがあつたようですが、決定に変化はみられません。神さまは必至の願いには耳を傾け、太陽の運行さえも止められる方（イザヤ38・8）です。祈りが届かないのはまだ必死さが足りないのかかもしれません。

3月からシスター方がいないことを考えるのは辛いことですが、考えなければなりません。扉の開け閉め、香部屋の世話、祭服の洗濯、ホステアなどの注明来源、クリスマスや聖週間の祭壇準備、葬儀などの準備と片付け、マイク設備の操作、などなど。更には、幼稚園のもうもろの活動への力です。これは個人におぶするだけでなく、信徒会全

体で知恵を出し合い、協力しなければ教会活動は進みません。改めてシスター方の存在の大きさに驚くばかりです。

困ったことと戸惑いながら、神は〈耐えられないような試練をお与えにならず、それを逃れることをも備えていてください〉（1コリント10・13）ことを確信して、このチャレンジに取り組んでゆく必要があります。取りあえずは、シスター方に引継ぎノートの作成を依頼して、それをもとに各委員会、地区会、役員会、司牧協議会などで意見交換を行い、新しい役割分担、祇園像を描いてゆくことに致しましよう。



第164号  
2020年7月26日  
発行所  
祇園カトリック教会  
信徒会



画 横関 侑平（六甲学院59期生）

近年、ベトナムから来日の人々が急増しております。主に技能研修生と留学生として、その数は40万人以上となり、その中の一割ほど4万人のベトナム人が急増しております。信徒がいると言われています。広島教区においてはおよそ2500人の信徒がいて、岡山市、福山市、東広島市、広島市、宇部などに集まっております。

近年、ベトナムから来日の人々が急増しております。主に技能研修生と留学生として、その数は40万人以上となり、その中の一割ほど4万人のベトナム人が急増しております。信徒がいると言われています。広島教区においてはおよそ2500人の信徒がいて、岡山市、福山市、東広島市、広島市、宇部などに集まっております。

ベトナムの若者たち

トナム人の司祭によつて、月に一度ベトナム語のミサが行われます。他に、2年ほど前から岡山県赤磐市にある「みこころの家」に毎月80～100人の若者が集まり、ベトナム語のミサ、煙の農作などに携わるようになります。



白浜司教さまの指示に従つて、適度に司教と交わりながら会合を開き、信仰教育、リーダー養成、信徒大会などの計画を考慮しながら試みていましたが、新型コロナウイルスの影響で、一時的に中断され、現在は良い転機を待っております。

願わくば、より多くのベトナムの若者が日本の教会に根ざし、信仰生活と福音の宣教に貢献できますように切に期待しております。

ベトナムの若者たちは、SARS-CoV-2が発生し、新型コロナウイルスと呼ばれています。今は治療法がなく致死率が高いので恐れられています。ウイルスの殆どは人に害を与えないですが、中には害をなすものがあるのです。人の世界に似ています。全ては神によって創造されたものです。人は知恵を使いワクチンを作り、セルフケア（三密、マスク、うがい、手洗い等）しながらウイルスと共存・共生するしか道はありません。▼「刈入れまで毒麦も麦も育つままにしておきなさい」マタイ13・30

ばおん  
5198

Virus (ヴィールス)  
はラテン語で、「病気を引き起こす毒」「毒液」という意味です

